

2010 年 2 月 11 日

———2009 年に出版されたハワード・ガードナー教授共著の *Multiple Intelligences Around the World* に *An MI Science Project At Midorimachi Junior High School* として紹介された当校のプロジェクトの概要をここに紹介する。———

**2007 年度ソニー子ども科学教育プログラム 最優秀プロジェクト校
千葉市立緑町中学校における全国大会 =公開授業と記念講演=**

日本 MI 研究会 会長 上條雅雄

千葉市立緑町中学校は 2007 年度ソニー子ども科学教育プログラム 最優秀プロジェクト校 を受賞した。これは同中学校の古市教諭（現教務主任）による「生活の中で生きる科学：マルチ・サイエンス・プロジェクト」の推進の結果であり MI 理論がベースとなって実践されている。同中学校は MI 理論に賛同し学校一丸となって生徒のマルチ能力の活用を通して、生徒が生き生きと学べる学習環境の工夫に取り組んでいる。

2008 年 11 月 21 日、この受賞を記念する＜最優秀校の実践発表の場＞として、2008 年度ソニー子ども科学教育研究全国大会が開催され、公開授業と記念講演が行われた。

1) 公開授業 午前中に MI 理論を生かした授業が公開された。「理論はまず応用してみることであり」とこの理論の提唱者であるハワード・ガードナー教授がよく言っているが、「プロジェクト・ゼロで学んだ多くの理論的枠組」が、緑町中学校では全学年、全教科にわたり実践されている。当日その実例を各教科にわたり約 20 の授業が公開され、全国各地から教育関係者が見学することができた。

2) 記念講演

演題：「マルチプル・インテリジェンス理論」と

「理解のための教育」の枠組みと私的考察

午後、日本 MI 研究会 (Japan MI Society) の上條雅雄がハーバード大学教育学大学院プロジェクト・ゼロの教育概念に関して解説をまじえながら記念講演を行った。講演を行うにあたり特に配慮した点は、ハーバード大学で「フレームワーク」とも呼ばれる「理論的枠組み」をより具体的に来場者に解説することであった。マルチ・サイエンス・プロジェクトの授業を見学しただけでは見学者にはその根幹の枠組みは分からない。MI 理論を実践するには教案を作成する時に、この枠組みに基づいて綿密に考える必要がある。そこで公開された授業内容を見学後プロジェクト・ゼロのフレームワークに照らし合わせて総評し、来場者に MI 理論を解説し、今後 MI 理論を有効に実践するための課題は何かを示唆した。また、上條の講演の中でハーバード大学教育学大学院教授、

日本MI研究会の名誉会長でもあるハワード・ガードナー教授から特別に寄せられた下記のようなメッセージを紹介し、緑町中学校の受賞の驥とした。

■Message from Howard Gardner :



Message from Howard Gardner

緑町中学校の皆様、このたびの受賞おめでとうございます。私はこのお祝いの言葉を送ることを大変嬉しく思っております。

皆様の研究プロジェクトが**2007年度ソニー教育財団・ソニー子ども科学教育プログラム 最優秀プロジェクト校**として表彰され、日本の教師、保護者、学生の模範となられることは素晴らしいことです。

同僚達と私がハーバード・プロジェクト・ゼロで開発した概念が示唆に富むものであることを証明して下さったことを私の喜びとしております。そして、いつの日か皆様の中学校を訪問し、その成果を直接拝見したいと思っております。

ハワード ガードナー
ハーバード大学教育学大学院 認知・教育学教授

3) 背景

ハーバード大学教育学大学院「Project Zero の理論」を学び、応用を積み重ねることがこのプロジェクトを発展させた。

千葉市立緑町中学校が「最優秀プロジェクト校」を受賞したがこの功績は同校の理科教諭、古市直彦先生によるものが大きい。彼は、ソニー教育財団によってハーバード大学教育学大学院・サマーインスティテュート 2004 に派遣された一人であり、日本MI研究会のメンバーである。

同校では2004年秋、「教室におけるプロジェクト・ゼロ フレームワークの応用研究のワークショップ」（ソニー教育財団千葉支部主催）が開催されている。このワークショップのテーマは「これからの日本を担う理科教育の課題」というものであったが。古市教諭と同じく、ソニー財団よりサマーインスティテュートに派遣された理科教師達が中心となりこのワークショップを運営した。上條も来賓として参加し、その時より同校に大きな期待を寄せていた。我々の期待を裏切らず、その後、緑町中学校は古市教諭を中心にMI理論実践に取り組み、「生活の中で生きる科学：マルチ・サイエンス・プロジェクト」は『プレジデント・ファミリー誌』2007・6月号にも紹介され注目を浴びた。

4) 関連情報：

■ 「子どもたちの多様な興味を生かす」MI 理論を応用した千葉市立緑町中学の授業

<http://www.sony-ef.or.jp/library/listen/04.html>

■ 2007 年度最優秀プロジェクト校＝千葉市立緑町中学校 全国大会速報

<http://www.sony-ef.or.jp/news/2008/081128.html>

5) 記念講演および公開授業の写真：





